

山口情報芸術センター [YCAM]

やまぐちアートコミュニケータープログラム2022：架空の学校「アルスコーレ」 オープンスコーレ「はじめての〇〇」

2023年1月22日（日）10:00～19:00

山口市中心市街地（合計4箇所）

街の中で展開する架空の学校

1日だけ社会へ開くオープンキャンパス

山口情報芸術センター [YCAM] では、山口市中心市街地活性化推進室と協働して進める「アートでつなぐまちの活性化事業」の一環として現在実施中のアートや学びに関する人材育成プログラム「やまぐちアートコミュニケータープログラム2022：架空の学校『アルスコーレ』」の成果を発表するイベント「オープンスコーレ『はじめての〇〇（まるまる）』」を開催します。

このプログラムでは、山口市中心市街地で学校を模した活動を展開しており、中心市街地で展示されている作品への理解を深めるためのイベントの企画制作や、空き店舗を活動拠点として改装するなど、多種多様な活動をおこなってきました。

今回開催するこのイベントでは、プログラムを通じて実施してきた活動を対外的に紹介するとともに、「はじめて」をテーマに参加型のワークショップやレクチャーなどを実施します。

日常の余暇（スコーレ）を楽しむための技（アルス）を育む学びの場「架空の学校『アルスコーレ』」をご紹介する本イベントは、新しいことに挑戦する姿勢に触れ、知られざる街の魅力を発見する契機になるでしょう。ぜひこの機会にご参加ください。



「んぜミ vol.3」（撮影：塩見浩介）

「オリジナルピクニックシートをつくろう！」
（撮影：塩見浩介）

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ】

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課 広報担当

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 メールアドレス：press@ycam.jp ウェブサイト：www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

75名が学生生活を送る「架空の学校」が中心市街地に生まれた



「んぜミ vol.2」
(撮影：塩見浩介)

2021年度からスタートした「やまぐちアートコミュニケータープログラム」は、2022年度から「アートでつなぐまちの活性化事業」の一環として山口市中心市街地を拠点に、プログラム・ディレクターにデザイナーの三宅航太郎を迎え、『アルスコーレ』という架空の学校を模した取り組みを展開してきました。参加するメンバーは、山口市内外から集まった中学生から70代まで、合計75名を数え、世代やバックグラウンドに関わりなく、アートへの関心、自主的な学びへのモチベーションをもとに、仲間と共に学び合いながら学校生活を送っています。

「ゼミ」を通じて自分なりのアートへの迫り方を探す

学校生活の中心にあるのは、「ゼミ」と呼ばれる活動です。山口の街で新しいアートの体験の場をつくるゼミ「シンシン」や、対話を通して芸術作品を鑑賞する手法「対話型鑑賞」を深く学ぶゼミ「みるめいく」、活動拠点となる空き店舗を整備するゼミ「とぐをとぐ」など、合計7種類があり、メンバーはそれぞれの興味やライフスタイルに合わせて参加することで、自分らしい学びと余暇の時間を模索しています。

たとえば「シンシン」では、メンバーは専門家から展覧会づくりの基礎を学び、最終的には「やまぐち新進アーティスト大賞」の受賞経験者の作品を山口市内の大殿地区のギャラリーやショップなど4箇所で開催する「やまぐちアートピクニック」を企画制作しました。

プログラム・ディレクター

三宅航太郎（みやけ・こうたろう）

1982年生まれ。鳥取県在住。アーティストとして活動したのち、2012年合同会社うかぶLLCを設立。カフェを併設した二つの宿を10年間運営。またグラフィックデザインをベースに、コミュニティのデザインやブランディングなど、県内外の文化的なプログラムに関わる。2022年、個人事務所「MAA」として独立。

企画・制作

Twelve Inc.

美術家、映像作家の山城大督が代表を務め、アートマネージャーやビデオグラファーからなるアーツプロダクション。京都府を拠点に、全国各地で映像制作やジャンルレスなアートプロジェクトの企画制作・アートプロデュースをおこなう。

アートでつなぐまちの活性化事業

山口市では「第3期山口市中心市街地活性化基本計画」を策定し、『まちを、楽しむ。』を全体のテーマに「居心地が良く歩きたくなるまち」「多様な人々の心が弾むまち」を目指し、中心市街地の活性化に向けた取組を進めています。

本事業は、アートが持つ人と人をつなぐツールとしての機能を中心に据え、YCAMで制作された作品の展示や文化的活動の場として中心商店街の空き店舗等を活用します。アート作品の展示やそれが巻き起こすコミュニケーションを通じ、新たなまちの魅力の発見や経済活動の創出を図り、エリア価値の向上に繋げることを目的としています。

「はじめて」を通じて商店街をまるごと楽しむ

今回開催する「オープンスコーレ『はじめての○○』」は、「架空の学校『アルスコーレ』」の半年以上に及ぶ活動の成果を、山口市中心市街地の4箇所で発表するイベントです。

それぞれのゼミに共通した要素から「はじめて」というテーマを設定し、街の人々が見たことのないものに触れる、初めてのことに挑戦するきっかけになるような、レクチャーやワークショップ、カフェなど、さまざまなプログラムを実施します。

実施されるプログラム

あぜミ

やったことないことをやってみよう！

『あぜミ』はメンバーが一度もやっていないことを探して、実際にそれをやるゼミです。

ここでは、中心商店街で開催中の「クラフトマルシェ」で、参加者が「やっていないこと」を体験できる屋台を出店するなど、「はじめて」に向き合う試みを商店街の中に仕掛けていきます。

みるめいく

はじめてこんなにちゃんとみた

『みるめいく』は、対話を通して芸術作品を鑑賞する手法「対話型鑑賞」について学ぶなど、メンバー自身が「みる」について考えるゼミです。

ここでは、「みる」行為の楽しさや複雑さを紹介する展示やワークショップなどを実施します。

はじめまして、tog です。

もともと「研ぎ屋」だった山口駅前に面する空き店舗を、メンバーがリノベーションをおこない、「tog（とぐ）」と呼ばれる出会いの場、小さな学び舎、情報発信基地として再生させました。

ここでは、この施設をカフェとして解放し、メンバーが店主を務め、コーヒーやサンドイッチなどを提供します。

メン活

自分で考えたことを、はじめて誰かとやってみる。

『メン活』は、メンバーが自分でやりたいことを見つけて、実際にかたちにしていくゼミです。

ここでは、さまざまなメンバーが考案した、新たな発見や生活を豊かにするインスピレーションに満ちた企画が実現します。

んゼミ

はじめてを解剖する？

『んゼミ』は、メンバーが問いを持ち帰ることを目的としたゲストによるレクチャー形式のゼミです。ここでは、芸術の「はじめり」を探求する仕事を数多く手がけてきた陶芸家の松井利夫をゲストに迎え、「はじめて」を解きほぐすことで見える景色について考えます。



開催概要

やまぐちアートコミュニケータープログラム2022：架空の学校「アル
スコーレ」

オープンスコーレ「はじめての〇〇」

2023年1月22日（日）10:00～19:00

参加無料（一部プログラムは要申込）

■ 申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。

ウェブサイト：

www.ycam.jp

プログラム基本情報

1. やったことないことをやってみよう！

10:00～17:00（休憩 13:30～15:30）

会場：同日開催される「山口クラフトマルシェ」に出店

2. はじめてこんなにちゃんとみた

10:00～17:00（休憩 13:30～15:30）

会場：旧ディスクボックス（山口市米屋町2-4）

3. はじめまして、togです。

10:00～19:00（休憩 13:30～15:30）

会場：tog（山口市駅通り1-4-16）

4. 自分で考えたことを、はじめて誰かとやってみる。

10:00～11:00 / 11:30～12:30

15:30～17:00 / 17:00～18:30 ※要予約

会場：どうもん商店街エリア（詳細はウェブサイトをご確認ください）

5. はじめてを解剖する？

13:30～15:00 ※要予約

会場：中市316（山口市中市3-16）

ゲスト：松井利夫（芸術家、京都造形芸術大学教授）

聞き手：三宅航太郎 司会・進行：山本孟（山口大学教育学部講師）

同時期開催イベント

商店がはじめて美術館になってみた

2023年1月20日（金）～29日（日）

開催時間は会場となる各店舗の営業時間に準じます

会場：近江屋、村上洋傘店、明治堂ほか

参加アーティスト：小山祐和、平川和明、保手濱拓、松村憲治

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会 技術協力：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]、Twelve Inc.

第3期 山口市中心市街地活性化基本計画 アートでつなぐまちの活性化事業

